

甲州

議
会
広
報No.12
31. Oct
2008

10 / 31号

特集

座談会・新議長と語る

わたしたちが考えるまちづくりとは
平成19年度各会計決算を認定

一般質問

限界集落の機能維持対策は

不登校の現状と対応は

雇用促進住宅を購入する理由は ほか



シリーズ④「今、これに夢中・・・」

大きく輝かしい挑戦の始まり

塩山中学校女子ソフトボール部の遊撃手として、関東大会などへの出場経験を持つ岡ななみさん（塩山下於曾）は、11月21日から24日まで静岡県で開催される全国ジュニア育成中央研修会への参加が決定しています。この研修会には、将来が有望視される90人が全国から集められ、関東地区（1都7県）からは、ななみさんを含む10人が選ばれました。「研修会は自分の力を試す絶好のチャンス。全力で挑戦したいです」と力強く語るななみさん。将来の目標であるオリンピック出場に向けた、大きく輝かしい挑戦が始まります。



甲州市議会

桐原正仁 議長



勝沼中学校3年

上野 悠さん



塩山北中学校3年

堀川陽平さん

座談会・新議長と語る

●テーマ……わたしたちが考えるまちづくり

市民の参画が

質の高いまちをつくる

甲州市が誕生して3年が経過しようとしています。今年の3月には、まちづくりの計画書である「甲州市まちづくりプラン」が策定され、だれもが健康で、安心と幸せを感じながら暮らすことができるまちを目指して、さまざまな取り組みが行われています。今回の座談会では、7月に就任した桐原正仁議長が、市内各中学校の代表生徒たちと甲州市のまちづくりについて意見交換を行いました。生徒たちからは、活発な意見や提案が出され、有意義な座談会となりました。

議長

本日は、夏休みのお忙しい中にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございます。さて、今回の座談会は、甲州市のまちづくりについて皆さんからご意見やご提案をお聞きして、未来に向けたこれからの市の運営に生かしていきたいと考えています。まず初めに、皆さんは甲州市にどんな印象を感じていますか。

上野

甲州市は緑がとても豊かで一面にぶどう棚が広がる、ゆったりとした穏やかなまちと感じています。

堀川

まちに対する印象ですが、市内の商店街は人通りがまばらで、寂しい雰囲気を感じます。もっと活気を取り

戻す努力が必要ではないかと考えています。

広瀬

わたしは、中学校入学の時に甲州市に引っ越してきたのですが、水のおいしさに驚きました。また、年間を通して、お祭りやイベントなどの催しが開催される賑やかなまちだと思います。

平山

大和地域は高齢者の割合が高くなっています。近所には独り暮らしのお年寄りが増えていて、交通面や農業など今までの地域環境では、不便や問題があると感じています。

雨宮

自分が生まれ育ったこのまちは、みんな朗らかで優しさが溢れているので大好きです。



塩山中学校3年
広瀬早織さん



大和中学校3年
平山安資さん



松里中学校3年
雨宮悠佳さん

ボランティア活動は まちづくりの大きな力

議長 甲州市は合併して間もないため、市民総参加による新たなまちづくりが大きなテーマになります。これには将来を担う子どもたちの活躍も期待されますが、今まで皆さんが、地域や学校生活の中で参加や体験をしたまちづくりについて聞かせてください。また、その時に感じたことや気付いたことなども教えてください。

堀川 学校の委員会活動で、介護ボランティアに参加したことがとても印象に残っています。正直言って、参加する前は病院に行くような感覚があり、ためらいの気持ちが強かったです。でも、実際にお年寄りの皆さんと触れ合っていたら、自然に打ち解け合うことができ、相手を思いやる気持ちの大切さを感じることができました。ボランティア活動は、まちづくりの中で大きな力になると思いますので、行政の積極的な応援を期待しています。

雨宮 松里地区では、百目柿を使った枯露柿づくりが盛んですが、総合学習の時間に

農家へ柿もぎや皮むきなどのお手伝いに行きました。松里中の生徒にとっては、地域の伝統産業や文化を知ることができる貴重な体験となっているので、これからも続けてほしいと思います。

平山 大和中では、全校生徒が信玄公祭りや勝頼公祭りで武者行列などに参加しています。お祭りは、待ち時間も長く、重い鎧や着物を着ながらの参加は大変ですが、勝頼公まつりは大和地域ならではの

お祭りなどは地域の絆を越えたい

上野 ぶどうまつりへの参加は、年に一度の楽しみになっています。勝沼中の生徒は、お祭りのフィナーレを飾る鳥居焼に点火するため、聖火隊を編成して地域を走ります。無事に聖火リレーを終えて、柏尾山に浮かび上がった鳥居焼を見上げる時は、安心感と充実感が込み上げ、感動でいっぱいになります。他のお祭りやイベントもそうですが、これからは勝沼地域だけでなく、甲州市の催しとして発展していくことが望ましいのではないのでしょうか。

議長 お祭りやイベントな

のお祭りなので、みんなで盛り上げていきたいです。

広瀬 わたしは、小正月に行う「どんやせ」に参加したことがあります。「どんやせ」は、無病息災や五穀豊稔を願いながら、子どもたちが中心となって、夜間に地域を練り歩く伝統行事です。しかし、現在は子ども数が減少していますので、大人の皆さんにも積極的に参加していただき、楽しく安全に行うことを考えてほしいと思います。

どの運営は、「行政がやるべきだ」という雰囲気がある全国的にあります。しかし、市民の皆さんが参画しながら作り上げていくことに大きな価値があり、それが質の高いまちづくりにつながります。甲州市内には、住民の皆さんが企画運営する「かつぬま朝市」と「えんざん朝市」が月一回開催されています。どちらの朝市も物の売り買いだけでなく、地域コミュニケーションや観光振興に一役買っています。ぜひ皆さんも家族や友達を誘って、積極的に参加してほしいと思います。

自然と触れ合い環境の大切さを知る

議長 現在、地球温暖化防止、ごみ減量化、環境美化など環境保全に対する関心が高まっています。甲州市では、総合的な取り組みを推進していますが、わたしたち一人ひとりに何ができるでしょうか。

堀川 わが家では、資源ごみをしっかり分別しています。学校では、通学路のごみを定期的に拾うなど地域美化のため活動しています。環境を守るためには、みんなが意

識を持ち、水道水や電気の節約に努めることが大事だと思います。

雨宮 わたしも同感です。小さな行動でもみんなが協力して継続すれば、大きな成果が生まれます。松里中でも、生徒一人ひとりが水道水と電気の節約を心掛けるようにしています。そして生徒会が中心になり、2学期から飲料缶のプルタブ（つまみの部分）やペットボトルのキャップ集めを行う考えです。散乱防止とリサイクルの観点から、少しでも環境保全につながればと願っています。

平山 最近では、買い物の時にマイバックを持参している人がすごく増えましたよね。レジ袋の有料化が大きな理由と聞いていますが、地球環境にとっても良いことだと思えます。今は一部のお店で実施されていますが、さらに広がってほしいですね。

上野 日用品や電化製品などが使い捨てされる時代ですが、今あるものを大切に使う意識が大事だと思います。この考え方は、環境を守ること

につながっています。

広瀬 環境保護の意識を高めるには、自然と直接触れ合うことが近道です。市内には、山や川や湖など恵まれた自然があります。もっと安全で安心して親しめる場所があれば、みんな自然を身近に感じ、守ることの大切さが分かるのではないのでしょうか。

有意義な経験となる総合学習や国際交流

議長 甲州市は、子どもたちの生きる力や思いやりの心を育むため、学校教育をとおして総合学習、国際交流、情報化など各事業を推進していますが、体験談や感想がありましたら聞かせてください。

堀川 総合学習では、市内の電気店で職場体験をしました。接客も大変でハブニングもありましたが、とても良い経験になりました。

上野 勝沼中では、農繁期の援農作業としてジベ処理実習を行っています。職場体験と同様に、将来とても役に立つ体験なので継続してほしいと思います。

雨宮 昨年、姉妹都市アメリカアイオワ州エイムズ市に友好訪問団の一員として行っ

てきました。そして今年も、エイムズ市でお世話になったホストファミリーの子をわが家に迎えました。どちらも短期間で言葉の壁もありましたが、伝えたいことを理解してもらえた時の喜びは今でも忘れません。国際交流を推進している関係者の皆さまにはとても感謝しています。

平山 僕もエイムズ市を訪問して、すばらしい経験ができました。これからも多くの生徒の参加が可能になればと思います。

広瀬 わたしもエイムズ市から帰った時に、異文化に接することは、視野が広がります。考え方柔軟になると実感しました。今後は、高校生などを含めた海外留学制度の実施を検討してほしいです。

堀川 ホームステイで受け入れたエイムズ市の友達とは、時々メールをしています。彼が帰国の際に、涙を見せて別れを惜しんでくれたことが印象に残っています。

上野 わたしは9月17日から姉妹都市であるフランスのポリーヌ市を、市内の中学生24人で訪問します。甲州市を代表する訪問団の一員として、有意義な交流を図ってきたいと思っています。



市内で開催されている各朝市は市民の皆さんが自ら企画運営をしている。今では代表的なまちづくりへの参加活動になっている。

和やかな雰囲気であった座談会。生徒たちからは素直で前向きな意見が出された。



学校施設の耐震化 工事の早期着工を

議長 まちづくりが仕事である市議会や市役所に対して、ご意見やご要望があれば聞かせてください。

上野 観光客に休憩場所や観光ポイントを聞かれたことがあります。的確な対応ができなくて戸惑ってしまいました。観光振興を図るのであれば、大きくて分かりやすい案内マップや観光案内所の増設が必要だと思います。また、国内で大規模な地震が多発していることから、各学校施設の耐震補強工事を早急に着手してほしいです。

雨宮 道路沿いの水路に、子どもが落ちてけがをすることがあるので、危険防止のためにふたをしてほしいです。また、市内には街灯がない場所がたくさんあります。安全対策のためにも設置をお願いします。

堀川 塩山北中は、多くの生徒がバスで通学していますが、基本的に便数が少ないと感じます。たくさんの経費が掛かると思いますが、登下校をする時間帯の増便を検討してください。

議長 最後に皆さんは未来の甲州市をどのようなまちにしていきたいですか。

雨宮 優しい心が溢れる笑顔が絶えないまちを作りたいです。また、高齢化社会なので、お年寄りにとって、住みやすいまちづくりが必要だと思います。

上野 賛成です。皆が笑顔で暮らすことができれば幸せですよね。そして、市外から訪れた人が、再び来たくなるようなまちになれば素晴らしいと思います。

広瀬 将来わたしは、絵や

夢や希望を持てるまちをつくりたい

平山 桐原議長は、未来の甲州市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。

議長 甲州市を元気にする具体的な方法をいくつか考えています。1つ目は、市内で会社を立ち上げる人たちを応援するシステムを作ること。2つ目は、市内にある3つの駅を有効活用する施策を考えることです。特急や急行電車の停車が増加すれば、甲州市は都内までの通勤圏内になり、人口流出を防ぐことができると思います。3つ目は、基幹

映像関係の仕事をしたいたのですが、自然豊かなこのまちに「スタジオジブリ」のような魅力のある会社を誘致してほしい。そうすれば、多くの雇用が生まれて活性化につながることでしょ。

堀川 活気が溢れるまちになってほしいです。将来的に人が定住するためには、若い世代が働くことのできる環境づくりが必要です。それには、しっかりとした企業誘致が必要になるので、行政の立場から積極的な取り組みをお願いします。

産業である農業の振興策を真剣に考えていきたいです。

わたしは、将来を担う若者たちが、夢や希望を持つことができるまちづくりを目指していきたいです。夢や希望に向かって前進している人たちがいるまちは、すごく元気なまちになる可能性を秘めているからです。市議会としても、今回いただいた元氣溢れる提案を、一つでも多く実現できるように努力していきたいです。本日はありがとうございました。



地域の伝統行事を伝承したい

平山博文さん(大和町田野)

わたしが住んでいる田野地区では、毎年「田野の十二神楽」が奉納されています。この舞は、昔からその家の長男しか舞うことができずでしたが、今では少子化のため長男どころか、踊る子どもすら少なくなっている状況です。「いつかは、この舞が伝承されなくなってしまうかもしれない」と思うこともあります。しかし、地域の大人たちが、地域の将来を担う子どもたちに、一つ一つの舞を教えている姿を目にすると、「コミュニケーションの大切さや、神楽を守り伝えていく使命感を感じます。各地の伝統行事が消えていく中で、少しでも長く、「田野の十二神楽」が続くことを願っています。



ふれあいのまちを残したい

中村みえ子さん(塩山牛輿)

塩山で生まれ育ったわたしにとって車は必需品です。しかし便利である車の利用が、人間同士のふれあいを希薄にしていることを感じる出来事がありました。先日、愛犬の散歩の途中に、下校する子どもたちから「こんにちは！」と声を掛けられました。なんて気持ちの良いあいさつでしょう。わたしも慌てて笑顔で返しました。そして、さらに子どもたちは、道路の脇に咲く小さな野花を避けて、そっとまたいで行くではありませんか。その優しさに、再び感動しました。車社会では忘れがちな、ふれあいの心や弱いものを守る気持ちを気付かせてもらいました。子どもたちは地域の宝です。未来を担う子どもたちが安心して成長できる、ふれあいのあるまちをいつまでも残していきたいと願っています。



ぶどうまつりの継承を孫に託す

野田敏子さん(勝沼町勝沼)

今年も恒例のぶどうまつりが開催され、一つひとつのたいまつに感謝と祈りを込めながら、街の中を若者たちで編成された聖火隊が走りました。わたしは、この灯りを見ると元気が出ます。そして秋の夜空に鳥居焼が幻想的に浮かび上がると、このお祭りをいつまでも残したいと感じるのです。先人たちが築いた勝沼の歴史や風土は、日本一のぶどうとワインの故郷を育み、現在に至っています。その名声は県外にも知れ渡り、魅力あるまちとして評されることを誇りに思います。そして十年後、愛する孫が聖火隊に加わり、歴史あるぶどうまつりに参加する日を今から楽しみにしています。



自然との共生を次世代へ

向山 敏さん(塩山竹森)

わたしは農業者として里山を残したいです。里山とは、手付かずの自然ではなく、長い年月の間に、人と自然が協調してつくり出したものだと思います。かつては稲作や養蚕をとおして自然と関わっていました。今では果樹栽培が中心ですが、年々農家経営も大変になり、高齢化や後継者不足が叫ばれ、山との関係が崩れていると思います。最近では、カイガラムシやシカ、イノシシ、クマなどの害もあり、自然が暴走し始めた感じがしています。人が自然に介入し過ぎることも害ならば、介入せずに放任することも害になるのではないのでしょうか。人を含んだ生態系のバランスを、今の時代に合った形で求め、次世代につなげたいと思います。

市政を問う

9月定例会は10人の議員が登壇して、産業・福祉・教育・防災・交通・基盤整備など市政全般にわたり、一般質問を行いました。それぞれの内容を要約してお伝えします。

古屋 久議員

Q 限界集落の機能維持対策は

A 生活に必要なサービスを実施中

問 65歳以上の高齢者が住民の半数を超える限界集落が、県内でも増加している。限界集落の機能維持対策について伺いたい。

答 張診療所の開設、定期的な不燃物の回収、福祉バスやジャンボタクシーの定期的運行を行っている。今後は限界集落存続のため、関係市町村と連携を図る中で、財源対策などを含めた有効な施策を国や県に求めている。

問 甲州市防災マニュアルを出前講座や市民懇談会において啓発や周知をして、防災意識の高揚を図り、防災や減災につなげることが必要と考えるがどうか。

答 衛生携帯電話等の通信手段の配備と、ヘリポートの確保はどのような状況なのか。また、スムーズな応急活動体制を確立するための取り組みを伺いたい。

答 総務企画部長 本市では一ノ瀬高橋地区が限界集落に該当する。現在、出張について伺いたい。

答 総務企画部長 区長や防災リーダーには説明を行い、防災訓練の際に活用をお願いした。また、出前講座の講座メニューに「身近な防災対策」として設けている。なお、市民懇談会における説明は、関係部署と協議をして検討したい。

答 総務企画部長 現在、衛生携帯電話は総務課に1台が配備してある。今後は、各総合局と災害時に孤立が予想される地区への設置を検討する。ヘリポートは、離着陸場として一ノ瀬高橋地区、東山梨消防本部、上日川ダム、藤木スポーツ広場、勝沼中央公園がある。緊急離着陸場は大和スポーツ公園、主要発着場は市内小中学校校庭など24カ所が活用される。応急活動体制は、市職員に対する情報伝達訓練や非常参集訓練を実施して図っていく。

問 平成21年度末に過疎地域自立促進特別措置法が失効する。これに替わる支援策の実施を国や県に働きかけることが必要であるが考えを伺いたい。

答 総務企画部長 本市は大和地域が過疎地域に該当する。現在、出張について伺いたい。

問 災害など有事に備えた衛生携帯電話の市内の配備状況は



災害時に孤立の可能性がある地域への設置が求められる衛星携帯電話



各地域で開催されている市民懇談会では、市に対する要望、意見が数多く出されている

都倉義男議員

Q 市民懇談会

出された諸課題への対応は

A 誠実に耳を傾けて対応する

問 市長と市民が語り合う市民懇談会が各地で開催されている。市民の皆さんから出された諸課題に対する今後の対応を伺いたい。

答 市長 地域から生の声を聞くことは、行政運営において大変重要なことである。市民の皆さんの声に

は、誠実に耳を傾けて対応していく考えだ。多くのご参加をお願いしたい。

問 市職員の給与は、旧市町村間の格差を合併後に調整すると決定されたが、実際に行われたのか伺いたい。

答 総務企画部長 平成18年度当初に調整作業を行った。3年間を掛けて全職員が調整が終了する。

修は、いつ頃終わるのか。

答 教育長 21年度の予定だが、貴重な物が出土して調査が必要な場合は、期間が延びることもある。

市内縦断バス
停留所の増設へ

問 市民バス市内縦断線は、大和町共和から勝沼地域総合局の間に停留所が1カ所もないため、周辺地域から設置の要望がある。早急な対応をお願いしたいがどうか。

答 市民生活部長 10月から旧田中銀行前に停留所の設置が決定している。

問 水道料金は、本年4月から新料金になったが、なるべく低料金であることが市民の願いである。値上げは、段階的な見直しであるが、次の料金改定の時期と金額を伺いたい。また、基本料金と超過料金との比率はどれくらいなのか。

問 水道料金の値上げを検討しているのか。

答 建設部長 市民負担につながるため、審議会等で慎重に審議していく。

問 丹波山村との合併協議の状況を伺いたい。

答 市長 庁内検討委員会による検討や合併に関する懇談会を設置した。懇談会や議会の意見を伺いながら検討していきたい。

田邊民男議員

Q 県営射撃場

移転計画は怎么样了のか

A 県から建設地変更の申し出があった

問 上小田原地区内の寄附地に、県営射撃場の移転が計画されている。昨年8月の説明会以降、計画が具体化していないが、進行状況を伺いたい。また、周辺の防災面や進入路等について、地域住民の要望意見を述べる機会はあるのか。

答 総務企画部長 事業主体である県が本年5月に測量を行った結果、着弾が河川に及ぶ可能性が判明したため、建設地変更の申し出があった。詳細が明らかになれば、県と協議して説明会を開催する。地域の意見は、地元と市が一体とな

り要望していく。

問 射撃場建設による本市のメリットは。

答 総務企画部長 知名度が向上すると思われる。また、進入路の整備は、残地の活用においてメリットがあると考える。

問 建設地は県に売却す

るのか、無料で貸すのか。

答 総務企画部長 庁内では検討しているが、発表できる段階ではない。

問 何年後に完成する予定なのか。

答 総務企画部長 平成23年10月を予定している。

問 上・下小田原地区の簡易水道整備について、調査結果の報告を求める。また、総事業費と完成年度を伺いたい。

答 水道課長 上・下小田原地区で、水源の確保は



市内小中学校すべての校庭に散水施設の整備が待たれる



県営射撃場の建設予定地である上小田原地区内の山林。地元意見への対応など県との協議に注目が集まる

難しいと判明した。現在は水源確保と複数の施設計画案を比較検討している。総事業費は約10億円である。

答 総務企画部長 完成 年度は、国との協議で変わるが、事業の最終期限は平成29年度である。

**上条集落の方向性
住民は困惑している**

問 市は、甲州民家集落群である上条集落の価値を認めているが、具体的な方向性を示していない。これ

では地元住民は、困惑するばかりだ。「方向性を検討する」と答弁した2年前の一般質問以降に、どのような対応をしたのか。

していることから観光資源としても貴重なものである。集落が重要建造物保存地区などに指定されると、さまざまな規制が出てくるため、地元の皆さんの意向を聞きながら、早急に方向性を探っていききたい。

Q 不登校の現状と対応は

A それぞれに合わせたケアをしている

問 不登校について今年度の状況と、教育委員会としての対応を伺いたい。

しながら、それぞれの子どもに合わせたケアをしている。家庭訪問などで保護者との話し合いを深めながら努力している。

している。これ以外に8施設が未工事であるが、工事計画の前倒しを検討していきたい。

問 この幹線道路は、国道との交差点が生まれる。開通時からの信号機設置が必要と考えるがどうか。

答 教育長 小中学校で合計23人が、何らかの事情で登校しにくい状況にある。学校と協力して原因を解明

問 全国学力テスト・学習状況調査の結果は、学校の序列化や競争を生むため非公開としている。本市は、このほかに非公開の理由があるのか。

問 学校校庭の散水施設の設定状況と芝生化について伺いたい。

答 観光産業部長 供用開始時からの信号機設置を関係機関に要望している。

答 教育長 概要は発表している。点数で序列をつくることなどは好ましくないので公表しない。

問 再来年度からの学校施設耐震化計画は。

答 教育長 小学校9校、中学校4校に整備されている。校庭の芝生化は課題として検討する。

問 災害時の消防団員に対する情報の伝達方法を伺いたい。

答 教育長 平成23年度は、勝沼中の校舎、塩山中和塩山北中の体育館を予定

問 学校支援地域本部事業の内容を伺いたい。

答 教育委員 地域ぐるみのボランティアで、学校運営の支援体制を整備する事業である。ボランティアの募集やコーディネートは、勝沼中の校舎、塩山中和塩山北中の体育館を予定

答 総務企画部長 総務課と団長・副団長・分団長は、団無線で発信ができる。分団長・部長・部員への伝達は、携帯電話か口頭で行っている。そのほか状況に応じて防災行政無線やメディアなどを併用し、適切な情報発信を行っていく。



交通事故が多発する小屋敷地内の交差点。信号機の設置は周辺地域から強い要望が出されている

Q 小屋敷地内
交差点

信号機の設置は

廣瀬 一議員

A 現在の交通量では難しい

問 農道松里幹線と市道小屋敷11号線との交差点は、死亡事故を含む交通事故が多発している。信号機の設置要望があるが、現在の状況を伺いたい。

答 市民生活部長 交通量が少ないため設置は難し

いが、引き続き要望している。市ではカーブミラーや警戒標識を設置して、安全対策を講じた。

問 三窪高原・大菩薩峠におけるシカの食害対策について伺いたい。

答 観光産業部長 大菩薩嶺の稜線付近は、国立公園の特別保護区及び県有林であるため、市は調査以上の活動ができない。三窪高原は、継続した実態調査の実

施や県の助成制度を活用した防護柵の設置などに取り組んでいく。

問 平成19年度における有害鳥獣の捕獲数など、県全体と市内の状況を伺いたい。また、防護柵の設置計画を伺いたい。

答 観光産業部長 県全体では、イノシシ1636頭、サル401頭、シカ2789頭。市内はイノシシ62頭、サル9頭、シカ89頭、

クマ6頭。鳥類はムクドリ229羽、カラス208羽、その他2羽。農作物の被害額は690万円であった。

本年度の防護柵の設置は、大和地域に電気柵を6200m、塩山千野地区は、かさ上げ柵を5000m、塩山藤木地区に防護柵を8000m。

来年度以降の計画は、大和町の古部地区と宮本地区に電気柵を5000m、塩山藤木地区に防護柵を2200m、塩山玉宮地区は、かさ上げ柵を8100m計画している。

問 過去の一般質問で水に対する関心を高めるため、小学生による河川の水質検査を約束したが実施されていない。再度提言するが考えを伺いたい。

答 教育長 今まで以上に地域の河川などに関心を持てるよう、水に関する授業を行っていききたい。

実のなる木を植え

鳥獣のえさの確保を

問 ある程度のえさを奥山に確保するため、実のなる木を、山に植える取り組みをしたらどうか。

答 観光産業部長 長期的な視野で森林整備計画を作成し、総合的に森林整備を進めていく。

に使っていききたい。

問 さらなる観光振興のため、行政窓口の集約化に向けた検討会の設置を提案するがどうか。

答 市長 庁内体制の整備と同時に外部組織を立ち上げ、観光、交流産業の指針となる観光振興計画を策定する計画である。

問 友好都市エイムズ市及びポーンヌ市との国際交流をとおして、本市の産業振興を図るべきではないか。

答 市民生活部長 これ

廣瀬元久議員

Q 本庁舎
移転改修

自主財源からの支出額は

A 約1億7000万円である

問 本庁舎移転改修の設計委託業者は、指名型プロポーザル方式（業者からの企画提案方式）で決定したが、この方式の長所と短所を伺う。また、何社が参加し、どこの会社と契約したのか。契約金額についても伺いたい。

答 総務企画部長 長所は、設計業者のノウハウにより新たな提案が出され、より良い設計が可能になり、短所は業者決定に時間がかかることだ。10社を指名したが、辞退などにより、最終的に4社から企画提案を受けた。審査の結果、天野

建設設計事務所と2940万円で契約を行った。

問 予算は合併特例債を用いるが、自主財源から負担される金額を伺いたい。

答 総務企画部長 約15億円が事業予算であり、自主財源から約1億7000万円を充てる。基金を有効



財政改善策に取り組んだ甲州市。平成19年度決算では大幅な改善がされた

野尻陽子議員

Q 合併後の財政改善策とその成果は

A 実質効果額は2年間で9億円以上

からの交流の中で内容を検討したい。

問 市街地活性化のため、行政の支援が必要であると考えるがどうか。

答 観光産業部長 現在実施している支援を基本に、商工会、商店街組織と連携していく。

問 モナザイト置き場の

跡地と建物は、現在どうなっているのか。

答 総務企画部長 修復される宮光園の家具等の保管場所になっている。

問 都市計画法に基づく用途地域を早急に見直すことが必要ではないか。

答 建設部長 現在策定中の都市計画マスタープラ

ンの成果を基に、見直しを検討していく。

問 生活困窮者に対する緊急措置として、国保税の減免制度を拡充する考えはあるか。

答 福祉保健部長 減免制度の拡充は難しい。納付が困難な場合は、相談を受けて対応していく。

問 合併後、約3年間の財政改善施策と、その成果を伺いたい。

答 市長 平成18年度に公債費比率負担適正化計画

を策定し、19年度決算は大幅な改善ができた。また、集中改革プラン及び第一次甲州市行政改革大綱に基づき、148項目の改革に取

り組んだ結果、18・19年度の2年間で実質効果額が9億4793万円となり、目標額を上回ることができた。さらに、公的資金補償金免除繰上償還制度を活用し、3億円以上の金利負担の軽減を図っている。

問 市の財政状況を一般世帯の家計に例えて、分かりやすく説明してほしい。

答 総務企画部長 平成19年度の歳入決算額159億円を、世帯の年間収入額159万円に置き換えると、

市税などの自主財源に当たる給料は69万円、国・県支出金、地方交付税などに当



市街地の活性化に向けて模索が続いている

たる親からの支援が74万円、住宅改修の借入金は16万円となる。また年間の支出額は、155万円であり、生活費が130万円、公債費に当たるローンの返済に22万円、貯蓄に3万円という内容である。

問 今後の財政状況の予測を伺いたい。

答 総務企画部長 今の経済状況を踏まえると、先を見通すことは難しいが、状況を把握しながら健全な財政運営に向けて努力していく。

問 市の財政状況を考えた時、新庁舎の姿はどうあるべきか伺いたい。

答 市長 現庁舎の耐震

住民投票条例 制定の考え

問 丹波山村との合併は、住民投票条例を制定したらどうか。

答 市長 現在、条例をつくる状況になっていない。



気軽に授乳やおむつ換えができる場所が意外と少ない公共施設。少子化対策としても充実した整備が必要になる

矢野義典議員

Q 「赤ちゃん駅」設置の考えは

A 市内7カ所の公共施設に整備

問 母子が安心して外出できるよう、市内の各施設に、おむつ換えや授乳ができる「赤ちゃん駅」の設置を提案するがどうか。

答 市長 類似した機能を持つものを、市役所庁舎や市民会館等の7カ所に設置する。内容は、おむつ換

えシート13個、ベビークラック6個などである。

問 小中学校における地上デジタル放送への対応について伺いたい。

答 教育委員長 対応が必要なテレビは177台であるが、多額な費用が必要になる。今後は、国の補助金制度を十分に精査して、来年度から年次計画により順次対応していきたい。

問 本市における可燃ご

み処理の現状と今後のスケジュールを伺いたい。

答 市民生活部長 勝沼地域と大和地域は、東山梨環境衛生センターで処理されている。塩山地域の可燃ごみは、家庭系が甲府市環境センターで、事業系が9月から峡北広域環境衛生センターで処理されている。今後は甲府峡東地域ごみ処理施設事務組合によって建設される、広域ごみ処理施設

設の平成27年度稼働開始に向けて、事業展開を図っていく。

問 峡北広域環境衛生センターでの処理による費用効果を伺いたい。

答 市民生活部長 前年度と比較すると、運搬費や処理費などで約700万円の減額を見込んでいる。

問 温室効果ガスの削減に効果がある製品や、省エネルギー型製品などを購入した消費者に、経済的な報奨などを与えるエコ・アクション・ポイント事業を本市でも実施するべきと考えがどうか。

答 市民生活部長 家庭

から排出される温室効果ガスは増加傾向にあるため、取り組みを検討したい。

ふるさと納税制度
パンフによる推進を

問 ふるさと納税制度を推進するため、夢のある寄附募集のパンフレットを作成して、本市を応援してもらえよう取り組みが必要ではないか。

答 総務企画部長 本市の魅力とまちづくりビジョンを紹介し、寄附をいただいた方々の思いも掲載したパンフレットの作成を検討していきたい。

丸山国一議員

Q 雇用促進住宅を購入する理由は

A 居住者の生活を考えたためだ

問 雇用促進住宅を購入する理由について、市長の考えを伺いたい。

答 市長 団地廃止による人口の流失を防ぐと共に、居住者の生活を優先に考えて購入を検討している。

問 各団地は老朽化しているが、耐震基準を満たし

ているのか。また、どのように運用するのか。

答 建設部長 耐震基準は満たしている。公共賃貸住宅として市が管理運営する方針である。

問 実質公債費比率の内容と状況を伺いたい。

答 総務企画部長 算定基準の見直しにより、都市計画税が特定財源として認められた。これにより平成18年度対比1・9割の減少で18・4割になった。平成21年度決算では18割以下になると予測している。

問 都市計画税の運用状況と今後の方向性は。

答 総務企画部長 都市計画事業費や下水道事業費に充てている。塩山地域の一部と勝沼地域が都市計画区域であるが、勝沼地域に都市計画税は課税していない。平成22年度に課税区域の見直しを行う。

問 市内の小中学校で数件の事件が発生した。どのように考えているのか。

答 教育長 あつてはならない事件であり、申し訳なく思っている。学校の安全管理の徹底と服務規律の



新庁舎として活用される旧シルク



市が購入を予定している雇用促進住宅。取得後の運用整備が課題になる

確保に努めていく。

問 近年における夏の猛暑日の状況を考えると、小中学校の教室に空調設備の設置が必要ではないか。

答 教育長 県内の状況も勘案して検討していく。

問 3つの総合グラウンド

を芝生化したらどうか。

答 教育長 芝生は競技が限定され、多額の維持管理費が掛かる。今は校舎等の耐震化を優先していく。芝生化はその後に検討することだと考える。

問 スポーツ大会や研修

会議等で、市の公共施設を利用する人たちが宿泊する場合、市内の宿泊施設に振り分けをしているのか。

答 教育長 利用者が各自で予約している。

答 市長 8月にウエイトリフティングの大会がある

り、市内での宿泊を条件に会場の使用を許可した。

問 本市の農業振興について考えを伺いたい。

答 観光産業部長 農家が張り合いを持てるように、観光資源の維持など地域環境整備に努めていく。

Q 本庁舎の移転改修

延期の考えはあるか

廣瀬重治議員

A むしろ早めることを考えたい

問 現庁舎の耐震性に問題があることが、庁舎移転改修整備事業に着手した最大の理由であると考えているが、間違いはないか。

答 総務企画部長 そのとおりである。来庁される

市民の皆さんや職員の安全を守るために計画された。

問 旧シルクの耐震度が高いことは承知している。しかし、新たに多くの窓を設置し、3階も改造されるが耐震性・安全性の確認は行っているのか。

答 総務企画部長 当然耐震構造上のチェックは確実にを行う。市民の皆さんが多く集まる場所であることから、耐震性の確保に万全を期すため、設計の中で逐次チェックをしていく。

問 構造設計のチェックを厳しくするため、建築設計士事務所協会の判定を受けることが望ましいと考えているがどうか。

答 総務企画部長 必要に応じて検討したい。

問 設計業者は、指名型プロポーザル方式（業者からの企画提案方式）の入札により決定された。この方式の成果を伺いたい。

答 総務企画部長 設計者の創造力、技術力、経験などを総合的に判断できた。また、各社のノウハウは非常に参考になり、一定の成果が得られた。

問 庁舎移転改修計画には賛同している。しかし、財政面や来年度に控えた市長・市議会議員選挙など、もろもろの状況を考慮すると、大幅な経費削減案の検討や若干の延期も考えたら

住民要望を伝える目安箱的な取組みを

問 住民が日常的な要望や意見を行政に届けるため、目安箱的な取組みを提案するがどうか。

答 総務企画部長 現在、各審議会委員等の一般公募、※パブリックコメント制度の活用、市長への手紙制度等の実施により、広聴機能の充実を図っている。また、広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、各報道機関を活用した積極的な情報提供に努めている。これからも市民の皆さんが、気軽に提言できる機会を作りたい。

きたい。

※住民の意見を行政施策の意思決定に反映させる制度

平成19年度の予算執行を問う

歳出は155億5000万円を認定

平成19年度の各会計決算は、9月18日から4日間、一般会計等決算審査特別委員会及び水道事業会計等決算審査特別委員会を開催して審査を行いました。慎重審査の結果、すべての会計を認定すべきものと決しました。審査の内容を要約してお伝えします。

住民税 低下の理由は何か 収納率

歳入

問 住民税の現年度収納率が下がっている理由を伺いたい。

答 税務課長 税源移譲により、低所得者層に課税がされたためである。

問 固定資産税の不納欠損の主な要因は何か。

答 税務課長 納税者が自己破産した時には、裁判所に交付要求をするが、配当額が少ない場合がある。

低下の理由は何か

また、法人等の倒産で、回収が不可能になることなどが要因である。

問 収入未済について各担当の対応を伺いたい。

答 子育て対策課長 保育料の滞納者には、督促状や催告状の送付、納税誓約書により少しずつでも納めてもらっている。

答 建設課長 市営住宅料滞納者は47人いる。今後は法的手段を検討していきたい。

答 環境課長 衛生手数料の未納は、2業者が破産しているため、回収は不可能である。

答 管財課長 水路を売却したが、購入者の申し出により分割納入とした。現在、督促をしている。

問 入湯税の内訳を伺いたい。

答 税務課長 指定管理者制度にした施設の納税が、圧倒的に多かった。大菩薩の湯、天目の湯、ぶどうの丘天空の湯は、ほぼ横ばいである。

歳出

■総務費

問 カーブミラーやガードレールを設置する基準を伺いたい。

答 市民生活課長 区長からの要望をまとめ、年2回の設置を行っている。ガードレールは、小規模なものを設置している。

問 AED（自動体外式除細動器）を派出所に設置したかどうか。

答 総務課長 県と相談していきたい。

問 市ホームページの作成委託料が高くなった理由は何か。また、ホームページ広報掲載用PDF作成手数料は必要なのか。

答 政策秘書課長 トップ画面のリニューアルをしたため加算があった。PDFの作成は、広報誌を画像化して、ホームページで見ると必要である。

■民生費

問 不妊治療に対する助成の成果を伺いたい。

答 子育て対策課長 市に結果の報告はないが、それなりの効果は上がっていると思われる。

問 敬老祝金の対象者は何人であったのか。

答 福祉介護課長 77歳が440人、88歳が150人、100歳以上が23人であった。



平成19年度会計決算17件が認定された

総合検診の受診率は37.3パーセント

■衛生費

問 総合検診の受診率はどれくらいか。また、今年度との比較を伺いたい。

答 健康増進課長 受診率は37.3割である。今年度は特定検診になり、受信者の戸惑いも感じるが、受診率は上がっている。

問 塩山市民病院の土地取得の償還はいつまでか。

答 財政課長 債務負担行為で低利率なものに借り

換えた。平成35年度まで償還していく。

問 リサイクルステーションの設置数を伺いたい。

答 環境課長 平成19年度は3カ所設置した。設置数は全部で95カ所である。塩山地域に81カ所、勝沼地域に3カ所、大和地域が11カ所である。

■教育費

問 青少年カウンセラーの活動内容を伺いたい。

答 総務課長 4月29日に発生した深沢地区の林野火災で、食料や消火ホースなどを購入した。

答 生涯学習課長 アドベンチャークラブ、ふるさと探検隊、生涯学習推進大会などに関わり、きめ細かな活動を行った。

問 非常備消防費の予算流用は、突発的な理由によるものなのか。

答 総務課長 4月29日に発生した深沢地区の林野火災で、食料や消火ホースなどを購入した。

マツクイムシの被害状況は

■土木費

問 各市営住宅の入居状況を伺いたい。

答 建設課長 大和地域の久保平団地に4部屋、塩山地域の上塩後団地に4部屋、空室がある。勝沼地域などほかの団地はすべて入居中である。

■農林水産費

問 マツクイムシやカツラマルカイガラムシの被害状況を伺いたい。

答 農林商工課長 マツクイムシは防除対策の効果があり、被害は減少している。カツラマルカイガラムシは実態を把握していない。

問 市全体の遊休農地の面積を伺いたい。

答 農林商工課長 約111haである。

問 農業後継者対策費の内容を伺いたい。

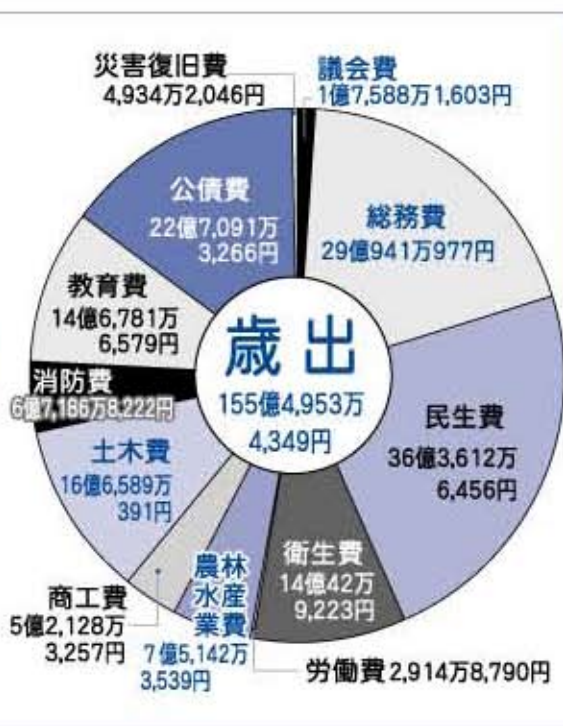
答 農林商工課長 指導農業士会、塩山農業振興協議会、果実消費宣伝活動などへの補助金である。

答 農林商工課長 マツクイムシは防除対策の効果があり、被害は減少している。カツラマルカイガラムシは実態を把握していない。

問 市全体の遊休農地の面積を伺いたい。

答 農林商工課長 約111haである。

一般会計決算の内訳





健全経営に努力するぶどうの丘



活用が検討される塩山診療所



医療費の抑制に努力する国保事業

庁内対策会議により

各種滞納金の徴収を強化

■国民健康保険事業

問 国保税の収入未済額が非常に多いが、どのように処理をしていくのか。

答 健康増進課長 滞納整理に重点を置き、少しでも多くの徴収に努力していく考えである。

■診療所事業

問 滞納者に対する督促状の送付だけでは、徴収率が上がらないと思う。どんな対策をしているのか。

答 健康増進課長 家庭訪問などを実施し、分割納付を勧めている。

問 数カ年の累積で約3億円の滞納金がある。原因を分析して、徴収することが必要ではないか。

答 総務企画部長 税に限らず未収金が多くあるため、関係課合同の対策会議を10月に開催する。滞納者の情報を共有しながら、取り組みを強化し、全庁を挙げて取り組んでいく。

問 期限付き保険証の発行数を伺いたい。

答 税務課長 約600件である。

■閉鎖中の塩山診療所 今後の活用策は

問 なぜ、総務費を約600万円減額したのか。

答 健康増進課長 人員変更があり、職員人件費を減額したためである。

■閉鎖中の塩山診療所 今後の活用策は

問 閉鎖している塩山診療所の賃借料を支払っているが、今後の活用方法を伺いたい。

答 健康増進課長 診療所は補助金事業であり、目的の外使用ができなかった。法律が改正されれば目的外使用が可能になったので、活用方法を検討していく。

問 約1億1900万円を映東流域下水道維持管理負担金として支出しているが、内容を伺いたい。

答 都市整備課長 下水処理のための維持管理負担金が約8611万円、建設負担金が約3343万円となっている。

■浄化槽設置費で補助金交付は21件、単独は2件であるが、工事請負費に不用額が発生している理由を伺いたい。

問 浄化槽設置費で補助金交付は21件、単独は2件であるが、工事請負費に不用額が発生している理由を伺いたい。

答 都市整備課長 工事請負費であるが、浄化槽設置整備事業は、今年1月1日から始まった。国庫補助金の対象になる設置は、23基を終えたが、年度末により時間的に余裕がなかったため不用額が生じた。

■平成19年度中に公共下水道に接続した世帯数を伺いたい。

問 平成19年度中に公共下水道に接続した世帯数を伺いたい。

答 都市整備課長 人口での把握になるが、塩山地域は378人、勝沼地域が140人である。市全体の接続率は79・31%である。

■簡易水道事業

問 上・下小田原地区の水道施設整備のため基礎調査を委託したが、調査結果を伺いたい。

答 水道課長 基礎調査により、3つの整備計画案を比較検討した。東部・玉宮簡易水道に統合する計画

案が有力である。

問 東部・玉宮連絡管敷設工事は、どのような目的があるのか。

答 水道課長 安定給水が目的である。東部と玉宮の配水管をつないで一体化させ、水不足などの緊急時や不測の事態に備えるために工事を行った。

■勝沼ぶどうの丘事業

問 収益増加を図るための経営努力を、どのように進めていくのか。

答 ぶどうの丘事業管理者 8月現在で売り上げは9・5割増である。年度末には10割増を達成したい。

問 一般会計への繰出金は営業外費用ではなく、利益処分における処理が適正ではないのか。

答 ぶどうの丘事務局長 各年度の繰出金と損益計算の表を作成してある。引継をしっかりと、適正な処理を行っていききたい。

問 ぶどうの丘職員の雇用形態について、現状を伺いたい。

答 ぶどうの丘事務局長 職員の身分問題は解決していない。職員組合と当局で折衝中である。引き続き協議をしていく。

平成19年度特別会計の決算額

■国民健康保険事業	
歳入	41億7,067万9,634円
歳出	41億5,129万1,489円
■診療所事業	
歳入	9,730万7,282円
歳出	8,092万5,208円
■老人保健	
歳入	40億8,639万7,797円
歳出	40億7,705万7,921円
■介護保険事業	
歳入	23億6,263万7,106円
歳出	22億9,633万2,917円
■居宅介護予防支援事業	
歳入	1,066万1,000円
歳出	955万6,765円
■訪問看護事業	
歳入	7,751万 813円
歳出	6,523万9,004円
■下水道事業	
歳入	22億3,425万1,449円
歳出	22億 733万3,883円
■簡易水道事業	
歳入	5億8,088万4,650円
歳出	5億7,457万1,939円
■大藤財産区	
歳入	488万1,352円
歳出	271万2,513円
■神金財産区	
歳入	582万2,784円
歳出	507万6,878円
■萩原山財産区	
歳入	1,632万5,337円
歳出	1,545万7,579円
■竹森入財産区	
歳入	180万5,074円
歳出	50万8,845円
■岩崎山保護財産区	
歳入	86万2,142円
歳出	21万6,998円

平成19年度企業会計の決算額

■水道事業	
事業収益	4億 359万4,169円
事業費用	3億5,432万9,963円
■勝沼ぶどうの丘事業	
事業収益	9億1,076万6,983円
事業費用	8億5,246万3,720円
■勝沼病院事業	
事業収益	3,006万1,610円
事業費用	2,986万6,671円



継続が望まれる大和地域のデイサービス

大和地域 デイサービスの継続を社協に要望

■介護保険事業

問 介護保険対象者は毎年増えているが、決算額が前年度より減っている理由を伺いたい。

答 福祉介護課長 医療費抑制の観点から介護予防に力を注いだため、認定者の状況が変化し、数値的な変動が生じた。

問 この2年間は、介護予防策に力を入れてきたが、成果はあったのか。

答 福祉介護課長 転倒

予防教室、筋力アップ教室などの開催により、介護予防の効果があった。

問 大和地域のデイサービスは、利用者が減少しているが状況を伺いたい。

答 福祉保健部長 平成18・19年度は若干の赤字であったが、大和地域に唯一の施設であるため、指定管理者である社会福祉協議会に継続を要望した。

■訪問看護事業

問 ガンなど重病者のタ

ーミナルケア（末期医療）は、現状のサービスでカバーできているのか伺いたい。

答 福祉介護課長 24時間体制などにより、十分な対応をしている。訪問看護事業は、医師の指示を受けながら行っている。

■水道事業

問 水道料金滞納者への対応を伺いたい。

答 水道課長 まず督促書を送付する。その後、催告書、給水停止予告通知書

を送付して、納入がなければ給水停止を執行する。

問 配水量が増えているのに有収水量が減っていることは、漏水及びメーターに反映されていない水があるはずだ。調査や分析が必要ではないか。

答 水道課長 今後は漏水や無収水量が増加しないように調査検討して、無駄を無くしていきたい。

勝沼病院の院内改修を望む

■勝沼病院事業

問 ロビーなどを改修して、明るい雰囲気づくりをしたらどうか。

答 勝沼市民福祉課長 平成20年度も2カ所の改修工事を予定している。予算も伴うため、順次検討していきたい。

問 現在、診療科目を減らさずに病院機能を保持しているが、今後の維持対策を考えているのか。

答 勝沼市民福祉課長 山梨厚生会との指定管理者制度の契約は平成23年度までであるが、それ以降の継続を協議して、地域医療貢献のため努力したい。

一般会計は1億4817万円を追加

議案の審議

平成20年度甲州市議会9月定例会は、9月2日から26日までの25日間の会期で開かれました。平成20年度一般会計補正予算案や平成19年度決算、条例案、請願、議員発議案など34件の事件が提出され、慎重な審議を行いました。主な審議内容を要約してお伝えします。

19年度会計決算2件は採決で認定

◆平成19年度一般会計及び特別会計などの各会計決算は、慎重審査の結果、原案のとおり認定しました。(各会計決算の審査は、特別委員会に付託しました。詳しい審査内容は、14ページから17ページの決算特集を参照)

◆平成19年度甲州市一般会計歳入歳出決算は、歳入総額159億1303万5617円、歳出総額155億4953万4349円と

なりました。本会議では、「認定すべきもの」として一般会計等決算審査特別委員長が審査報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で認定されました。

◆委員長報告に反対討論
野尻陽子 当時、塩山ふれあいの森総合公園の遊具整備に、地形的・環境的条

件などの理由から反対したが、完成後に視察を行ったが、不適当と指摘したことに誤りはなかった。よって、決算の認定に反対する。

◆委員長報告に反対討論
野尻陽子 当時、塩山ふれあいの森総合公園の遊具整備に、地形的・環境的条

員長の審査報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で認定されました。

◆委員長報告に反対討論

野尻陽子 当局はまだまだ抜本的な下水道整備地域の見直しをしていない。従って今までの下水道事業の継続を認めることはできないため、反対する。

※採決結果は、賛成17、反対1、欠席1でした。

歳入・市債に2830万円を追加

◆平成20年度甲州市一般会計補正予算(第5号)については、歳入歳出それぞれに1億4817万5000円を追加し、総額を152億1179万5000円としました。主な歳入内容は、総務費として税源移譲

◆平成20年度甲州市一般会計補正予算(第5号)については、歳入歳出それぞれに1億4817万5000円を追加し、総額を152億1179万5000円としました。主な歳入内容は、総務費として税源移譲

に伴う市税還付金等に6550万6000円、民生費では、障害者自立支援給付費や共生のまちづくり事業費等に1785万9000円、衛生費は乳幼児医療費助成金として2120万円、土木費として道路維持補修費及び水路改修費等へ3066万8000円が計上されました。主な歳入内容は、地方交付税に1億7808万2000円、県支出金に2626万2000円、繰越金に9010万円、市債に2830万円を追加、繰入金は1億7822万1000円を減額するもので、可決しました。

◆「公益法人等への甲州市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について」を含む条例案4件は、原案のとおり可決しました。



慎重審議によりすべての事件を可決した9月定例会

後期高齢者医療制度

中止・見直しを求める請願は不採択

◆「後期高齢者医療制度の中止・見直しをするように国への意見書提出を求める請願」が提出され審議を行いました。この請願は、75歳以上の高齢者を年齢だけで区別し、差別的な医療制度を押し付ける後期高齢者医療制度の中止・見直しを内容とした意見書を、国に対して提出することを求めたものです。本会議では、不採択とした教育民生常任

委員長の審査報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、本請願を不採択としました。

◆委員長報告に賛成討論

野尻陽子 後期高齢者医療制度は、多くの市民が反対している。市議会には、市民の声を国に届ける義務がある。よって本請願を採択し、意見書を提出するべきと考えることから委員長報告に反対する。

古屋久 高齢者一人ひとりが所得に応じて保険料を負担する公平な仕組みであり、高齢者が安心して医療を受けるために必要な制度である。国も制度内容の改善策を講じていることから、委員長報告に賛成する。

※採決結果は、賛成15、反対1、退席2、欠席1でした。

◆教育委員会委員に萩原

新議長に桐原正仁議員が当選 新しい議会構成が決まる

7月24日に開かれた平成20年甲州市議会臨時会（7月）では、正副議長選挙が行われました。新議長は選挙の結果、桐原正仁議員（36・塩山上於曾）に、副議長は指名推選で曾根益彦議員（64・塩山西広門田）が選ばれました。

【議長選挙】投票総数20票
当選 桐原正仁（19票）
次点 田邊民男（1票）

【委員会構成】（◎委員長、○副委員長、年齢順）

◆総務常任委員会
◎中村勝彦 ○武藤雅美

◎丸山国一 ○岡武男 佐藤栄也 野尻陽子 夏八木盛男 矢野義典 桐原正仁

◆教育民生常任委員会

◎丸山国一 ○岡武男 佐藤栄也 野尻陽子 夏八木盛男 矢野義典 桐原正仁

◆建設経済常任委員会

◎廣瀬重治 ○都倉義男 曾根益彦 平塚義 古屋匡三 廣瀬一 桐原正仁 中村勝彦

◆議会運営委員会

◎平塚義 ○古屋久 廣瀬元久 廣瀬宗勝 佐藤栄也 岡武男 廣瀬一 矢野義典

◆議会広報編集委員会

◎武藤雅美 ○中村勝彦 岡武男 平塚義 廣瀬重治 矢野義典

◆環境整備等調査特別委員会

◎都倉義男 ○佐藤栄也

◆公平委員会委員に石黒

春仁氏（67・勝沼町勝沼）を選任することに同意しました。

◆固定資産評価審査委員

会委員に中村猛氏（74・塩山上於曾）、風間力氏（69・大和町日影）、内田金光氏（68・勝沼町菱山）を選任することに同意しました。

◆人権擁護委員に石田清

子氏（63・大和町日影）を選任することに同意しました。

新しい過疎対策法

制定を求め意見書提出

◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書を可決し、内閣総理大臣などの関係機関へ送付しました。これは制定以来、生活環境の整備や産業振興など一定の成果を上げてきた過疎地域自立促進特別措置法が、平成22年3月末で失効になることから、引き続き総合的な過疎対策の充実強化を図るため、新たな過疎対策法の制定を求めたものです。

総務

防災無線放送が聞こえない 不具合状況などを把握しているか

総務常任委員会に付託された事件は6件。委員会は、9月16日に第一会議室で開催し、すべての事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■平成20年度一般会計補正予算（第5号）
歳入

問 市税は増収している

のか、それとも減収しているのか伺いたい。

答 税務課長 昨年度で0.73割の増収である。また、滞納分については減少傾向である。

■甲州市岩崎山保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）

問 歳入へ財政調整基金から30万1000円を繰り入れ、歳出で祝地区有害鳥獣防護柵管理組合に対し、100万円を補助するが、

なぜこの時期に基金を取り崩して補助金を出すのか。

答 財政課長 防護柵管理組合から補助金交付の請願があったためである。非常時の速やかな対応のため、防護柵管理組合へ支出し、基金として管理される。

問 ならば計画的に当初予算で計上すべきではないのか。今後このような事がないよう申し入れるが。

答 財政課長 今後は適正に対応していく。

■その他の事項
問 防災無線が聞こえない場所がある。現状を正確に把握しているのか。

答 総務課長 苦情がある場合は、調査して修理を行っている。現在、故障は6カ所あり、修理業者に早急な対応を促している。

問 当局は、雇用促進住宅の購入を方針として出した。市内3団地の購入となれば相当な価格になるが、購入計画を伺いたい。

答 総務企画部長 購入方法や価格などの詳細は、現在協議中である。

問 購入後の運用方法を伺いたい。

答 総務企画部長 運用形態は、公営住宅法に基づく市営住宅か賃貸住宅の選択肢がある。現在の入居者には、引き続き居住を希望していただきたい。

問 業務改善マニュアルが1年前に出されたが、いまだに対応が悪い職員がいる。このことを各課長はどのように感じているのか。

答 政策秘書課長 市民の皆さんに対して、親切で分かりやすい対応をしていく考えだ。

要望 気持ちが変わらなければ通じない。12月議会には評価されるように実のある行動を要望する。

教育民生

学校支援地域ボランティア事業 コーディネーターの人選方法は

教育民生常任委員会は、

9月11日に第一会議室で開催しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■甲州市手数料条例の一部を改正する条例制定について

問 オウム真理教の犯罪被害者に認定された人は、

戸籍内容などの証明手数料が無料になるのか。

答 市民生活課長 被害者証明の提示により、無料となる。

■平成20年度一般会計補正予算（第5号）
歳出

問 障害者自立支援施設

の名称と場所、入所者数を伺いたい。また、交付金の300万円はどのように使われるのか。

答 福祉介護課長 大藤地区の「ともしび作業所」は、今年4月に障害者自立支援法により、就労継続支援B型事業所として知事から指

定を受けた。現在19人が入所している。交付金の300万円は、送迎サービス事業に使う。

問 本市が負担する乳幼児医療費は、前年度と比較してどのような状況であるのか伺いたい。

答 子育て対策課長 財政上の都合で、当初予算は昨年度より低い金額を計上した。今回は前年対比120割を見越して、予算補正をお願いしている。



災害などに備え万全な整備が求められる防災無線の放送施設



参加者や地域の声が生かされたイベント運営が求められる



学校を支援するため学校支援地域ボランティア事業が始まる

建設経済

大菩薩峠登山競走の反省点 来年度に生かす取り組みは

問 学校支援地域ボランティア事業のコーディネーターは、どのように人選するのか。

答 教育長 市内の中学校区に各1人を予定している。教育委員会では、教員経験者が良いのではないかと考えている。

■平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

問 後期高齢者医療制度の動向から、国保医療費の伸びは予想どおりなのか。

答 健康増進課長 各月で差があり、現時点では正確な動向はつかめない。国

保が負担する4月の診療分は、前年度対比9・27割増で、5月の診療報酬は、前年度対比7・8割減であった。6月診療分は、前年度対比14割増であった。

■平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

問 医療制度の管理端末システムを変更するが、内容を伺いたい。

答 健康増進課長 今年度の経過処置で、7割軽減の対象者に8・5割軽減が設定された。それに対応するために管理端末システムを改修する。

建設経済常任委員会は、6月18日に第一会議室で開催しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■平成20年度甲州市一般会計補正予算（第5号）

問 レックセンターにあ

るテニスコートの利用状況を伺いたい。

答 農林商工課長 軟式テニス149人、硬式テニス1377人である。

問 3面あるコートを同時に修繕できないのか。

答 農林商工課長 全面の改修は財政的な負担が大きいため、その都度対応してきた。

問 まちめぐりナビプロジェクト事業では、具体的に携帯電話でどのようなことができるのか。

答 観光課長 携帯電話から市内の観光情報、地域情報が検索できる。

問 「まちのソムリエ」というボランティアガイドの

育成を考えているか。

答 観光課長 現在25人ほどがボランティアガイドとして活動している。ほとんどが塩山地域の方なので、勝沼地域、大和地域へも広げる新たな取り組みが必要である。今後協議会で検討していく。10回程度の養成講座を開催することになるのではない。

問 市議会議員が区の中にいなければ、区内の土木事業が進まないという話を聞くが本当なのか。

答 建設課長 議員がいる、いないは関係ない。工事は行政への窓口である区長から申請を受ける。緊急性が高い所から実施してい

る。道路は平成18・19年度で122件の要望があり、60件を実施した。河川管理は、申請がなくても現場を確認し、危険箇所があれば対応している。合併後の申請は109カ所である。

問 観光ガイドマップの設置場所はどこなのか。

答 観光課長 3カ国の外国語パンフレットは、主要な庁舎や施設に置いている。日本語版は、要求があれば配布している。

問 今年の大菩薩峠登山競走の反省点を来年に生かすため、どのような取り組みをしているのか。

答 観光課長 今年度の参加者にアンケートを取り、その結果を参考に。地元との打ち合わせも、早い時期に行うよう努めたい。新規の参加者を増やしていきたい。

本庁舎の改修設計 委託業者と2940万円で契約

まちづくり等調査特別委員会を8月11日に第一会議室で開催し、本庁舎改修設計選定業者からプレゼンテーションを受けた後、本庁舎移転計画の現状と今後について質疑を行いました。主な内容を要約してお伝えします。

問 空調設備は、夜間電力で水を作り、冷気を昼間に利用するエコアিসシステムと灯油を燃料にするシステムのどちらを採用するのか。

答 管財課長 最近の燃料価格の高騰の中で灯油が非常に高くなっているため、エコアিসシステムを採用する考えである。

問 設計委託業者を決定する指名型プロポーザル方式(業者からの企画提案方式)は、参加業者が同じ条件を受けて実施されること

が前提である。採用された設計業者は、今年2月から

関わっている。他の業者は5月末からである。採用された会社が圧倒的に有利ではなかったのか。

答 総務企画部長 確かに旧シルクが庁舎として活用できるか否かの調査段階で、採用業者は関わっていた。しかし今回の設計は、既存建物の改修であり、通常の設計とは少し異なる

と考えられる。この特別委員会からも「多方面の提案を受け

るべきである」と提言があったことから、プロポーザル方式を採用した。今回は、

ル方式を採用した。今回は特異な事情であったことをご理解いただきたい。

問 指名した10社が、辞退などにより4社になったことは、指名から提案までの期間が短かったのではな

いか。

答 管財課長 通常の企画提案方式の期間としては、

る業者は指名ができない。より多くの提案を受けるため、組合ではなく個々の業者を指名した。

問 設計業者から企画提案を受ける評価委員の構成メンバーに、市の幹部職員が入っているが適正である

のか。

答 総務企画課長 適正であると考えている。山梨大学の教授に委員長をお願いし、市民の代表、市職員から人選した。

問 設計業者との契約はいつか。また、契約金額を伺いたい。

答 管財課長 7月31日に2940万円で契約を終えている。

ると認識している。

環境整備

植物性廃食油を精製して ディーゼル車の燃料として使用

環境整備等調査特別委員会を8月13日に開催しました。主な内容を要約してお伝えします。

■甲州市地球温暖化対策地域推進計画について

説明 環境課長 6月から市の広報紙で「ストップ温暖化」の連載をしている。

9月から市公共施設や一般

家庭から出される植物性廃食油を回収して、バイオディーゼル燃料に精製し、公

用車で使用する取り組みを始める。市役所本庁舎、勝沼庁舎、大和庁舎、環境課に回収ボックスを設置し、市外の施設に精製を委託す

る予定である。

問 精製は市外業者に委託されるが、市内にも市に働き掛けをして取り組もう

としていないのか。

答 環境課長 市内の施設は把握していない。近隣では、笛吹市と山梨市にあ

関する引継ぎはなかった。

問 今後、適正な対応を望むがどうか。

答 環境課長 大変申し



新本庁舎のイメージ図が公表された



議会改革へ動き出した甲州市議会。議員定数の適正化などに取り組んでいく

議会改革

訳ない。市内の状況把握と適正な対応をしたい。

問 環境問題は、行政と市民が一体となり取り組みなくては解決できない。今後の具体的な計画は、環境審議会や当委員会などにより、しっかりと諮ってほしい。

答 環境課長 委員会等の意見を取り入れていく。

活動スケジュール

議員定数の議論が最優先

議会改革調査特別委員会を9月5日に開催しました。主な内容を要約してお伝えします。

■甲州市エコオフィスプランについて

問 事業系ごみの一部は、峡北広域環境センターの受け入れが決まった。どれくらい経費削減になるのか。

答 環境課長 平成19年度と比較して、運搬費が約179万円、処分費が約278万円、積み替え費が約

264万円、合計で年間約722万円が削減できる。

問 事業系ごみの処理は、処理施設があった地元に対して、不誠実な約束破りが何度かあった。そのため300万円の地域振興費を払っている。事業系ごみの積み替えをやめないと問題が解決しない。積み替えをや

める方法はなかったのか。

答 環境課長 事業系ごみは、県内の13業者が独自に回収しているため、また



回収が始まった植物性廃食用油。精製されディーゼル車の燃料となる

■今後の活動スケジュールについて

委員会の設置後、最初の委員会であることから、これまでの経過を踏まえる中で議論を行いました。この特別委員会を設置した目的は、本市の厳しい財政状況を踏まえて、市議会においても経費削減などを検討する必要性があることから、議員定数や報酬額などの適正化について協議を行っていくことになりました。さらに、より効果的な議会運営を行うため、本会議など

の審議方法についても調査研究していくことを確認し、これからの活動スケジュールについて各委員の意見を求めました。

意見 議員定数の結論は、遅くとも来年の3月までに出すべきだ。

意見 議員定数は、議員報酬や政務調査費に影響するため、12月議会で条例改正をすることが良いのではないか。

意見 市民の皆さんの関心も高い内容である。来年の議員選挙に間に合うよう

に進めるべきだ。

意見 この委員会は、議会費の削減を第一に考えて議論を進めるべきである。

委員長 議員定数を初めに決定して、他の事項は順次検討していきたい。市当局も経費削減に苦勞している。当委員会も設置目的を果たすことが重要だ。

意見 議員報酬を絡めると他の議論が遅れる。まずは定数を決定すべきだ。

意見 議員定数の議論は、議会費の削減を意識するの

ではなく、あくまでも市民福祉にとって適正な定数を考える必要がある。よって、削減もあれば増員もあるという前提で議論してもらいたい。

※以上の意見を踏まえて、議員定数の議論を初めに行うことを全会一致で決定しました。次いで議員報酬、政務調査費、一般質問及び代表質問について議論し、議会の基本条例についても順次検討を重ねていくことになりました。

committee
report

委員会レポート

■傍聴席入口で受付簿に氏名、住所を記入し入場していただきます。
 ■日程などについては、定例会前の議会運営委員会決定しますので、決まりたい市議会ホームページなどでもご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。■(32)2111 内線302

傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月上旬の開会を予定しています。市議会とはなだでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。



わたしのふるさと ⑨

故郷にそっくりな大和町

韓国全羅南道求禮郡



深沢 俊 さん(大和町初鹿野)
 韓国名・鄭 江俊



わたしは、13年前に日本人女性と結婚して甲州市大和町に住んでいる韓国人です。初めて日本に来て驚いたことは、わたしの故郷とそっくりだったことです。わたしの故郷は、ソウル市から車で約4時間、釜山からは2時間ほどかかる所にあります。国立公園の中にあるため、山と水がとともきれいで、韓国で唯一、アユ釣りができる場所です。たまたま故郷に帰りますが、今もわたしが好きな知異山とソンジン川が相変わらず故郷を見守っています。高校まで故郷にいたため、いろんな思い出があります。わたしは8人兄弟姉妹の末っ子で、兄たちと一緒に山奥の川に行つて魚を獲ったりして遊んだことは、永遠に忘れることはできません。

わたしが今日まで日本でうまく生活できたことは、第二の故郷・甲州市大和町が生まれ育った故郷と似ていたからかもしれません。これからも、このまちを愛しながらがんばって行こうと思います。

有料広告

市議会広報 甲州 (年4回発行 11,650部)
 『有料広告』を募集!!

■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。

発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)開会日の翌末日の4回で、広告掲載に関する基準は次のとおりです。

- 1 掲載する位置は、裏表紙(カラー印刷)の最下段とする。
- 2 広告の規格は、1枠につき、縦45ミリ横80ミリとする。
- 3 広告の掲載期間は、広告主と協議して定める。
- 4 広告の枠は、2枠とする。
- 5 広告掲載料は1回1枠につき、20,000円とする。
- 6 広告については、議会広報としてのイメージを損なうことのないよう、その内容、デザイン等について、事前に広告主と協議してから掲載する。

■申込方法 申込書に必要事項を記入し、掲載する版下を提出してください。

■お申込み・お問合せ
 市議会事務局 議事担当 ☎32-2111 内線302

こちら編集室

■この夏には、4年に一度のオリンピックが開催され、さまざまな感動を与えてくれました。そんな暑い夏も終わり、秋本番です。ぶどう郷である勝沼もにぎわい、秋の風物詩をつくる柿も色づき、果樹園交流都市・甲州市にふさわしい風景でもあります。■今号は決算特別委員会などあり内容も盛りだくさんです。議会の議論の内容も、できるだけわかりやすくお伝えできることを念頭に置き、編集いたしました。■広報編集委員もメンバーが少々変わりました。新しいメンバー

も前任者に負けないように、議会の内容をしつかり皆様にお伝えできるよう努力して参ります。ご意見・ご要望がございましたらお寄せください。■近頃めっきり寒さが身にしみるようになりまして。夏の疲れがでる頃でもあります。健康に気をつけてお過ごしください。(〇)

■議会広報編集委員会

委員長	桐原 正仁
編集委員長	武藤 雅美
副委員長	中村 勝彦
委員	岡村 武男
委員	平塚 義典
委員	廣瀬 重治
委員	矢野 義典